

# 人生ハンド仏句

第166号

H. 28. 1. 1  
(毎月1日発行)



## 新年所感

住職 谷川寛俊

新年あけましておめでとうござい  
ます。本年も何卒宜しくお願い申し  
上げます。

昨年12月20日は恒例行事とし  
て定着した【冬至水行祭・ほしまつ  
り】が開催されました。参加者は県  
内外より駆け付け、公式発表では総  
勢147名ですが、実際は153名  
に膨らむ大所帯で盛大に行う事が出  
来ました。中でも孫の寛晟(かんせ  
い・5歳)も初参加となり、水行祭  
の最年少記録を更新しました。また  
お姉ちゃんの天花(てんか・8歳)

を含めた友達ら子供達7名の勇氣に拍  
手を贈りたいと思います。当日の天候  
は、一昨年と打って変わって、日中は  
ポカポカ陽気でしたが、夜はさすがに  
冷え込みが厳しく大変だったと拝察し  
ます。殊に夜7時から、わざわざ東京  
より駆け付けて下さいました下宮高純  
楽師は、バンコク(タイ)から帰国直  
後の多忙を極める中ご来賀いただき、  
雅楽奏者として境内で幻想的な演奏を  
頂き、お集まりの皆様はその勇壮な音  
色に引き込まれていました。下宮楽師  
はその後の水行にも自らご参加くだい  
ました。そもそも雅楽とは、中国、朝  
鮮半島を経て、ベトナム、主に日本で  
花開いた伝統的な音楽の1つで、世界  
最古のオーケストラと言われているま  
す。下宮楽師は宮内庁楽師として、日  
本を代表する先生です。そんな下宮楽  
師は【冬至水行祭・ほしまつり】に、  
いたく感動され、来年も雅楽奏者とし  
て駆け付けて下さることを約束されま  
した。来年の【冬至水行祭・ほしまつ  
り】は12月18日開催予定です。お  
聴き逃しの方は、ぜひ来年お聴き頂き  
たいものです。

「人生ハンド仏句」  
と打ち込んで頂ければ、ホーム  
ページにつながります。

編集・発行  
玉蓮山 真成 寺  
編集部 谷川久仁子  
TEL・FAX 0765-22-2268  
携帯 080-3744-2523  
こちらの番号でもお寺につながり  
ます。

今回の【冬至水行祭・ほしまつり】  
は午前の部(11時)、日中の部  
(15時)、夜の部(19時)と三部  
に分けて行って頂きましたが、横浜市  
から平川氏、大阪市から参加の中屋氏、  
新潟県より初参加の飯塚氏らは、3回  
とも水を被らせて下さいとの申し出が  
あり、本当に頭が下がる思いがしまし  
た。さぞかし心身共に悪星退散された  
ものと確信します。この様にまだまだ  
熱い心を持った若者が大勢いらっしや  
るといふ事実は、心強い限りでありま  
す。また各種団体、魚津市を盛り上げ  
る今の組織の人達や、市役所の職員の方  
々など、今や魚津市の一大行事にな  
りつつある【冬至水行祭・ほしまつり】  
ではありますが、1つ気懸かりなこと  
は、(一部の人達を除き)肝心の真成  
寺檀家の方々の熱が、あまり入ってい  
ないという事です。当方の指導不足や  
宣伝不足、あるいはご都合が悪いなど  
色々あるとは思いますが、おおいにお  
寺に入って頂き、この様な事もやっ  
ているんだという意識を持って頂く必要

があるように思います。  
葬儀、法要、お盆等々の時だけお  
参りすれば良いというものではありません。  
今や色々なメディアが取材  
に来られ、一般の人達がこんなにも  
大勢参加され、日蓮宗では全国で唯  
一と言われる【冬至水行祭・ほしま  
つり】の自覚と誇りを持って頂きた  
く存じます。  
最後になりましたが、毎回、諸準備  
や後片付けに献身的に応援して  
下さいましたスタッフの皆様方の  
陰の力に対して心から合掌を  
申し上げます。

